

民俗資料の「発見」と

新たな「活用」の可能性を探る

第34回東北地方民俗学合同研究会



期日 平成29年11月25日(土) 12:30~16:45

会場 弘前大学 人文社会科学部 4階 多目的ホール 青森県弘前市文京町1 弘前大学文京キャンパス内

近年、災害、人口減、市町村合併などから、民俗資料の価値が十分理解されないまま保存がなおざりになり、廃棄されてしまう事例が増えています。その一方で、学校教育の場では、「昔の暮らし」を体験するために活用され、地域活性化や観光の場では、芸能や民具などが活用されています。また、写真・映像による研究が進展し、従来対象とされなかった資料へのアプローチも見られるようになりました。このことから民俗資料への新しい向き合い方について東北の各県の取り組みを報告し、意見交換を行います。

申込不要

主催：青森県民俗の会 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
後援：青森県教育委員会 弘前市教育委員会 三沢市教育委員会 東奥日報社
陸奥新報社 デーリー東北新聞社

弘前大学特定プロジェクト教育研究センター

地域未来創生センター
Innovative Regional Research Center

民俗資料の「発見」と 新たな「活用」の可能性を探る

第34回東北地方民俗学合同研究会



プログラム

11月25日(土)

10:00~17:00 企画展示: 小川原湖民俗博物館旧蔵資料の保存と探求
— 弘前大学民俗学研究室の取り組み —

12:00~ 受付

12:30 開会挨拶・趣旨説明

青森県民俗の会代表 古川 実

司 会

青森県民俗の会 弘前大学

山田 巖子(総合)

青森県民俗の会 国立歴史民俗博物館

小池 淳一(フォーラム)

発表

12:35~ 家電をテーマにした企画展示

増田 公寧(青森県)

13:00~ 民俗資料の新たな活用可能性を探る—ナマハゲ伝道士認定試験を事例に—

鎌田 幸男(秋田県)

13:25~ 一関市における民俗資料の公開—地域と民具—

東 資子(岩手県)

13:50~ まちづくり行政と民俗的資料の活用

岡山 卓矢(宮城県)

14:15~ 民俗と考古からみた技の再発見

國井 秀紀(福島県)

14:40~ 限界集落に伝承されるシシ踊り—米沢市綱木獅子踊りを事例に—

盛永 未来(山形県)

..... 休憩

15:20~ 意見交換

16:45 閉会挨拶

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター長

李 永 俊



問い合わせ先

青森県民俗の会事務局(青森県立郷土館学芸課内) 古川 小山 増田
〒030-0802 青森市本町2-8-14 電話/ 017-777-1585(代表)
FAX / 017-777-1588 メール/ minoru_kogawa@pref.aomori.lg.jp

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 山田 古川
〒036-8560 青森県弘前市文京町1 電話/ 0172-39-3198
FAX / 0172-39-3189 メール/ irr@hirosaki-u.ac.jp
平日のみ 10:15~17:00

